

社長の健康メッセージ

学生たちにとって身近な存在になれば学校は元気になる



学校法人 光星学院
理事長 法宮新一さん
ほうがん・しんいち 1948年生まれ、青森県八戸市出身。玉川大学卒業。2013年学校法人光星学院理事長就任。八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学長兼務。

◆憧れから教員の道へ

小学校の時の先生に憧れて、教員になりたいと思うようになり、私のお小遣いは、両親とも一日中忙しく働いていた時代です。先生は私たちを自分の子供のように扱ってくれました。学校に行くのが本当に楽しく、大切な場所でした。自分自身、教員になって学生に接する時に、当時の気持ちをふっと思い出すことがあります。

◆スポーツを通じた学びを

法人全体でスポーツに力を入れていますが、とにかく勝てばいい、という風潮には賛同しません。スポーツを通じて健康に関する学術を身に付け、世の中に生かすことを目指したいです。大学の女子ラグビー部が大豆食品の健康効果に関する研究に取り組み、「世界健康フォーラム・モナリザ賞」を受賞した写真。ことが、いい例です。

この研究では、大豆食品工業さんとの連携により、若い女性が積極的に大豆成分を摂取して運動すると、筋肉量や体脂肪、骨密度などにどのような変化を及ぼすのかを調べて評価されました。このように、学術的な研究を進めながら競技力向上を目指すことが理想です。

国は近く、全米大学体育協会

を参考にして大学スポーツの環境整備や活性化に取り組む積極的取り組みをしますが、それに名乗りを上げようと思っっています。生徒たちがスポーツを通じて学びを深め、価値の高い学術を身に付けて、社会の幅広い分野で活躍できる環境づくりを目指しています。

◆職員の精神的健康維持を重視

私自身の教員生活を振り返ると、帰宅後や休日も仕事から意識が離れられず、家族との思い出は数えるほど、という大きな反省があります。今の先生方には私のようにならないよう、家族との時間を大切にできる職場環境を作りたいです。それが自分流の働き方改革だと思っています。

学校法人としては高校生や幼稚園児も預かっていますが、「朝はとにかく気持ちよく迎え入れよう」と呼びかけ、私自身も率先して教員にも子供たちにも明るく前向きに接することで、元気な学校づくりを実現させたいと考えています。

